

平成31(2019)年「宝石山正覚寺報」4月号

ご案内

お聴聞は、如来様の促しに遇いお念仏しつつ
終にお喚び声に遇わせて戴く大切な営みです。
皆様どうぞご縁にお会い下さいませ。

仏壮お聴聞の会4月7日(日)20時~。

仏教壮年会恒例となったお聴聞の会です。
皆様賑やかにご縁にお会い下さい。

賀組仏教婦人会総会4月11日(木)10時

当日は滋賀組の営みですが、毎月の例会は、
この総会に合同開催と致します。このため、
16日は休会と致しますのでご了承下さい。

三月は仏縁の深い出来事が続きました

3月2日は永代経法要。お馴染みの田淵布教
使には心温まる歌唱御法話を戴きました。

3日は仏壮お聴聞の会、安堂布教使には足か
け六年のご出講にお礼のご法座となりました。

9日は滋賀組の連続研修会、「年を取ってこ
の世とお別れしていかなばならないことは分
かっていても納得できません」という困難な切
り口から話し合っ戴きました。その上の課題は、
27日宗門の僧侶養成部にご報告致しました。

16日は仏婦例会、20日は春の彼岸会と短い
間にご法座が続きました。彼岸会はこんにち、
情熱的にお法りをお伝えする場になりました。

9日の夕刻、連続研修会が終わった後、新旧総
代様方には本堂の屋根の点検に上って戴き、排
水溝の木の葉止めが長い間に空中を漂う土粉
で詰まり屋根の上にプールのように水が溜まっ
ている状況を突き止め、清掃/排水して戴きま

した。まことに有り難いことでありました。

22日は、昨年报恩講にご出講戴いた藤澤信
照先生のお寺での「ご本典()概説」(お
正信偈等が含まれる宗祖の最大の聖典)、

25日は、主催する大田利生勸学の「仏説無量
寿経勉強会」、両勉強会は、県内各地から運ば
れる熱意溢れる青年僧との出会いの場です。

27日は、勉強会仲間のお一人八木師が僧侶
養成部主催のご本山常例布教に出講なさるの
で、励ましのお聴聞に寄せて戴きました。

27日当日は併せて僧侶養成部を支えていら
っしゃる柱となる職員のお二方に、ケネス・田中
先生が一昨年未真宗学会で訴えられた浄土真
宗の伝道上の課題解決策について4月度りび
んぐらいぶずに書き下ろしたばかりの三部作:
第1号「名号大行論」、第2号「信前行後」、第3
号「聞名の救い」をご案内して参りました。

正覚寺の十年来の営みは、浄土真宗のお法り
が広く現代社会に伝わる為の課題を一つ一つ
突き止め解決策を模索してきたことです。

如来様は、私たちをお育てに与らしめ(使役)、
私のようなお粗末な者を目当てとして(謙讓)、
「まことよのうまことまこと(如来様のお慈悲を
尊ぶ広島弁)」と「讃仰」せしめることによって私
たちはお救いに与るのです(「しむ」の三義)。

祖父母、住職が合掌、礼拝、念仏する姿に対
して「何をしているの」と尋ねてくれた二歳の
幼児の問いに「如来様のお喚び声を聞いている
の」と応えさせて戴いた逸話は、終に頂戴し
た珠玉の逸話でありました。合掌。